

SUN サンライト LIGHT

冬号

Vol.
23

発行日 平成9年11月
発行所 筑波茶崎学園（水曜定休日）
所在地 茨城県稲敷郡茶崎町若菜500
電話 0296-76-3880



菅生活（中央に小さくこの冬一番飛来の白鳥を望む）

今年も除夜の鐘まであと一ヶ月あまりとなりました。平成九年も昨年同様、経済面では相変わらず厳しい一年だったと感じています。携帯電話や情報産業など一部には絶好調の業種もあるようですが、全体としては依然、停滞感は否めません。史上最底の低金利政策も景気対策としての効果に疑問を投げかけられても仕方が無いかもしれせん。

政治の方は自民党総裁選が久々の対抗者もなく無投票で橋本総理が再選されました。普通でしたらこれで総理のリーダーシップがいよいよ発揮され、不況対策や政治問題も解決に向かうのではと期待したいところです。ところが、行革内閣のはずだった内閣改造も総務庁長官人事でいきなり頓き、政治に対する失望感はまだまた募ってきました。行革、規制緩和、郵政民営化といろいろいわれられています。何が本当に国民に役立つのか十分な論議も説明もないようでは、政治不信や政治離れは当然ではないでしょうか。日露首脳会談だけは成功裏に終わり明るさが出たようです。他にもこの調子で願いたいものです。

すでに一流でなくなってしまう経済界も総会屋への利益供与事件続出です。銀行、証券に続いて自動車メーカーから旧財閥系の名門企業まで明らかになってきました。もともと国民の大多数は大方こんなことはとくにわかっていたことでしょう。捜査がここまで深く行われるようになったことを喜ぶべきなのでしょう。企業の倒産も都市銀行はじめ東証一部上場企業だけでも八社にのほりました。記憶にないことです。株値も香港に発した不安が世界を駆け廻り、ニューヨーク、東京、ロンドンと大暴落と急上昇し、先行きの不透明感一入の秋でした。

今年の文化勲章受章者では千宗室氏と高橋節郎氏が受賞されました。お二方のご活躍されている分野は最も日本的な仕事のひとつです。茶道は今更言うまでもなく千利休が侘茶の世界を創造し四百年以上に渡り日本の文化の一翼を担ってきました。今年も千利休と関係深かった豊臣秀吉の没後四百年にあたります。偶然以上のももの感じます。高橋節郎さんの色漆の世界も日本の工芸を代表する部門のひとつです。漆塗り工芸は日本だけでなくアジアには古くからありますが、水準の高さ、幅広い技法は日本の特技です。ジャパンとは英語の日本国名ですが漆を意味するそうです。こうした日本古来の文化の担い手に文化勲章が贈られることは今のように混迷の時代に日本の文化の原点を考え直すうえからも意味深いことと言えます。

来年は長野オリンピックが開催されます。日本選手に活躍してもらい、すこしでも明るい話題が増えて欲しいものです。最後に皆様おそろいで良いお年をお迎え下さい。